

第4 企 画

1 企 画

1 企 画

(1) 総合政策

持続可能なまちづくりに向け、「岐阜市未来のまちづくり構想」に掲げる岐阜市の将来像やまちづくりの方向性を踏まえ、社会情勢の変化を注視し、的確に対応した施策や事業の展開が必要である。

そのため、特に重点を置いて取り組む「政策のベクトル」を示し、着実に深化させることにより、持続可能なまちの実現を図る。

(2) 岐阜市未来のまちづくり構想

ア 策定経緯

岐阜市未来のまちづくり構想は、本市における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための方針である。新型コロナウイルス感染症や人口減少などの課題を踏まえ、いち早く本市の新たな将来像を示し、安心して暮らせる岐阜市を実現するため、「ぎふし未来地図」に代わるまちづくりの総合的な方針として令和4年2月に策定した。

イ 主な構成

(ア) 岐阜市の将来像

2040年頃に「人がつながる創造が生まれるしなやかさのあるまち」になることを目指す。

(イ) まちづくりの基本的な考え方

1. オール岐阜のまちづくり
2. シビックプライドの醸成
3. DXと脱炭素化
4. 持続可能で選ばれるまち

(ウ) 分野ごとのまちづくりの方向性

1. こどもファーストでみんなを笑顔にするまち（教育・子育て分野）
2. だれもが自分らしく健康に生きられるまち（健康・福祉・医療分野）
3. 人をつなぎ、暮らしと環境を守るまち（市民協働・防災・環境分野）
4. 活気あふれる仕事と交流のあるまち（産業・労働・交流分野）
5. 活力と暮らしやすさのあるまち（都市基盤整備・交通・中心市街地活性化分野）

(エ) 行政経営の視点

1. 行財政運営・公共施設等マネジメント
2. シティプロモーション

(オ) 将来像に関する数値目標

2040年度に達成を目指す3つの数値目標を設定し、毎年度、市民意識調査により成果を確認しながら進行管理を行う。

- ・現在幸せだと感じている人の割合
・・・85.0%

- ・岐阜市民であることに誇りを感じる人の割合
・・・65.0%
- ・岐阜市に住み続けたいと思う人の割合
・・・80.0%

(3) SDGsの推進

令和3年度、内閣府より「SDGs未来都市」、「自治体SDGsモデル事業」に選定された。

令和5年9月に、市民の皆さんや、地域団体、学校、企業など、多くのパートナーと協力してSDGsの更なる「啓発」と「行動」を図るため、岐阜市オリジナルSDGsロゴマークを公募により作成した。

SDGsの達成期限である2030年に向けて、多様なステークホルダーと共に持続可能な岐阜市の実現を目指している。

(4) 岐阜連携都市圏

平成26年8月、人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点を形成することを目的として総務省は連携中枢都市圏構想推進要綱を制定した。

本市を連携中枢都市とする「岐阜連携都市圏」の形成においても、当該要綱に基づき平成29年6月に本市が連携中枢都市宣言を行い、同年11月には山県市、瑞穂市、本巣市、岐南町、笠松町及び北方町それぞれと連携協約を締結、平成30年3月に「岐阜連携都市圏ビジョン（計画期間：平成31年度～令和4年度）」を策定した。その後、令和3年10月には、羽島市と連携協約を締結し、5市3町で岐阜連携都市圏を形成することとなった。

令和5年3月には「第2期 岐阜連携都市圏ビジョン（計画期間：令和5年度～令和9年度）」を策定し、「多様な地域の個性が輝き、住み続けたいくなる岐阜連携都市圏」を目指し、「圏域全体の経済成長のけん引」「高次の都市機能の集積・強化」「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」に資する各種連携事業を連携市町とともに推進している。